

## 単元名 およその形と大きさ

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 身の回りの物の概形を捉えて、そのおよその面積や体積を手際よく求める方法を理解し、概測することができる。
- (2) 身の回りの物の概形を考えたり、そのおよその面積や体積の求め方を考えたりすることができる。
- (3) 目的に合わせて身の回りの物の概形を捉えようとしたり、概測のよさを知って活用しようとしたりする。

## 標準的な展開例

06040207\_001

| 学 習 活 動  | 留 意 事 項 など  |
|--|---|
| <p>1 概形を捉え、およその面積を求める。[p. 144・p. 145]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 身のまわりのもののおよその面積や体積の求め方を考えよう。</li> <li>○ 大山古墳のおよその面積を求める。</li> <li>○ 身の回りの物について、およその形を考えて、その面積を求める。</li> </ul> <p>2 概形を捉え、およその体積を求める。[p. 146・p. 147]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ およその形を考えて、体積を求めよう。</li> <li>○ プールを見て、およその形を捉え、体積を求める。</li> <li>○ 浴槽のおよその容積を求める。</li> <li>○ コップのおよその容積を求める。</li> <li>○ 身の回りにあるいろいろな入れ物のおよその体積を調べる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ およそ長方形になっていることに気付かせる</li> <li>・ 手のひらや東京ドームなどについて、実測したり、方眼紙に写しとったりして、およその面積を求めさせる。</li> </ul> <p>【評】身の回りの物のおよその面積を求める活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直方体とみて、そのおよその縦、横、高さを決めて、体積を求めさせる。</li> <li>・ 直方体とみて、縦を約2m、横を約1.5mと捉えさせ、手際よく計算する。また、なぜ、縦2m、横1.5mとしたかを、図に記された情報を基にして説明させる。</li> </ul> <p>【評】およその体積を求める活動を通して、「知識・理解」及び「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 円柱とみて、体積を求めさせる。</li> </ul> <p>【評】身の回りの入れ物のおよその体積を調べる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> |

## 【 備 考 】

本単元では、身近にある図形について、その概形を捉え、およその面積や体積を求めることを学習する。面積を求める場合には、三角形や四角形などの測定しやすい形と見たり、体積を求める場合には、立方体や直方体と見たりするなど、形を概形として捉えることが重要となる。また、できるだけ面積や体積の公式がそのまま適用できるようなシンプルな形にすることが必要である。ここでは、具体的な身の回りの物のおよその面積や体積を測定することによって、これまでの面積や体積の学習を生活に生かそうとする態度を育てることが大切である。